

競技編

オリンピック

開催期間 2026年2月6日（金）～2026年2月22日（日）

開催日数 17日間

競技数 7競技(98種目) ※新種目の提案を検討します

パラリンピック

開催期間 2026年3月6日（金）～2026年3月15日（日）

開催日数 10日間

競技数 5競技（72種目）



施設整備のコンセプト

1972年大会のレガシー、200万都市札幌の都市機能、北海道の豊かな自然を活かして、アスリートに最高の舞台を提供し、新たなオリンピック・パラリンピックレガシーを創造します。

コンパクト

アスリートや来訪者の移動等に配慮し、コンパクトな施設配置とします。

- ・競技会場は都心から15km圏内に配置（※ ニセコ、帯広、札幌国際スキー場を除く。）
- ・競技施設の9割は選手村から30分以内で移動可能

レガシー

1972年冬季オリンピックでも使用した競技会場の活用やリニューアルとともに、オリンピック・パラリンピックレガシーを未来へ継承していきます。

- ・1972年冬季オリンピックで使用した競技会場11か所のうち、8か所を活用（真駒内、大倉山など）
- ・札幌ドーム周辺をオリンピック・パラリンピックを契機にスポーツパークとして整備

持続可能性

既存施設を最大限活用するとともに、後利用を重視し、大会後も稼働率の高い施設とします。

- ・競技施設については、既設または建替で、新設は「ゼロ」
- ・後利用の多目的化等により稼働率の高い施設を実現

民間資本活用

施設の整備や運営面等において民間活力を取り入れていきます。

- ・再開発などの手法を活用しながらホテルなどの建て替えを支援
- ・民間スキー場の再整備と連携

環境への配慮

都市と自然が融合した環境にやさしい大会を目指します。

- ・最先端の環境技術を駆使した「人と環境にやさしいスポーツビレッジ」としての選手村を計画
- ・道産木材の利用、再生可能エネルギー由来の水素を使用した燃料電池式自動車の導入などによる環境負荷低減

ユニバーサル

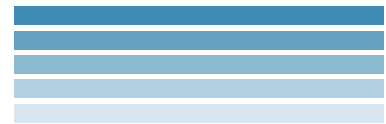
すべての人にやさしい施設整備を進めます。

施設建設にあたっては、整備計画段階から、競技者の視点を取り入れながら進めていきます。

- ・競技会場は国際パラリンピック委員会（IPC）の基準を踏まえたスロープやエレベーターの設置等、誰もが移動しやすい施設とします。
- ・会場へのアクセスとなる交通機関や駅などはアクセシビリティの向上を図ります。



競技プログラム



オリンピック

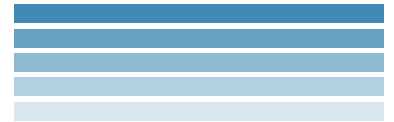
※ソチオリンピック2014の開催競技を想定

競技・種目		会場	種目	2/5 (木)	2/6 (金)	2/7 (土)	2/8 (日)	2/9 (月)	2/10 (火)	2/11 (水)	2/12 (木)	2/13 (金)	2/14 (土)	2/15 (日)	2/16 (月)	2/17 (火)	2/18 (水)	2/19 (木)	2/20 (金)	2/21 (土)	2/22 (日)
開会式・閉会式		札幌ドーム	-		開会式																閉会式
スキー	アルペン	ニセコ	男子回転																		●
			男子大回転															●			
			男子スーパー大回転											●							
			男子滑降					●													
			男子複合										●								
			女子回転																	●	
			女子大回転														●				
			女子スーパー大回転											●							
			女子滑降							●											
			女子複合						●												
	クロス カントリー	白旗山競技場	男子15kmクラシカル									●									
			男子50kmフリー																		●
			男子4×10kmリレー											●							
			男子スプリント					●													
			男子チームスプリント				●										●				
			男子バシュート				●														
			女子10kmクラシカル								●										
			女子30kmフリー																	●	
			女子4×5kmリレー										●								
			女子スプリント					●													
			女子チームスプリント														●				
			女子バシュート			●															
	ジャンプ	・大倉山ジャンプ競技場 ・宮の森ジャンプ競技場	男子ノーマルヒル個人				●														
			男子ラージヒル個人										●								
			男子ラージヒル団体												●						
			女子ノーマルヒル個人					●													
	ノルディック 複合	・円山総合運動場 ・大倉山ジャンプ競技場 ・宮の森ジャンプ競技場	ノーマルヒル個人						●												
			ラージヒル団体															●			
			ラージヒル個人													●					
	フリー スタイル	・サッポロテニスキースキー場 ・札幌国際スキー場 ・さっぽろばんなげいスキー場	男子モーグル					●													
			男子エアリアル												●						
			男子ハーフパイプ													●					
			男子スキークロス															●			
			男子スロープスタイル								●										
			女子モーグル			●															
			女子エアリアル									●									
			女子ハーフパイプ															●			
			女子スキークロス																●		
			女子スロープスタイル					●													
	スノー ボード	・サッポロテニスキースキー場 ・札幌国際スキー場 ・さっぽろばんなげいスキー場	男子パラレル大回転														●				
			男子ハーフパイプ						●												
			男子スノーボードクロス													●					
			男子スロープスタイル			●															
			男子パラレル回転																	●	
			女子パラレル大回転														●				
			女子ハーフパイプ							●											
			女子スノーボードクロス											●							
			女子スロープスタイル				●														
			女子パラレル回転																	●	

男子予選	女子予選	チーム/混合予選	男子決勝	女子決勝	チーム/混合決勝	G: ガーラ
------	------	----------	------	------	----------	--------



競技プログラム



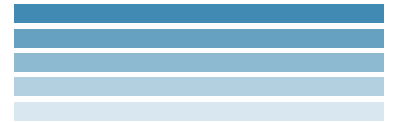
オリンピック

競技・種目		会場	種目	2/5 (木)	2/6 (金)	2/7 (土)	2/8 (日)	2/9 (月)	2/10 (火)	2/11 (水)	2/12 (木)	2/13 (金)	2/14 (土)	2/15 (日)	2/16 (月)	2/17 (火)	2/18 (水)	2/19 (木)	2/20 (金)	2/21 (土)	2/22 (日)
スケート	スピード スケート	真駒内公園屋外競技場 または 明治北海道十勝オーバル	男子500m					●													
			男子1,000m							●											
			男子1,500m										●								
			男子5,000m			●															
			男子10,000m													●					
			男子チームバシュート																	●	
			女子500m					●													
			女子1,000m								●										
			女子1,500m											●							
			女子3,000m				●														
			女子5,000m														●				
			女子チームバシュート																	●	
	フィギュア スケート	真駒内公園屋内競技場	男子シングル									●									G
			女子シングル															●			G
			ペア							●											G
			アイスダンス												●						G
			団体				●														G
	ショート トラック	真駒内公園屋内競技場	男子500m																	●	
			男子1,000m										●								
			男子1,500m					●													
			男子リレー5,000m																	●	
			女子500m								●										
			女子1,000m																●		
			女子1,500m									●									
			女子リレー3,000m													●					
アイスホッケー		・スポーツ交流施設 コミュニティドーム ・月寒体育館	男子																		●
			女子																●		
ボブ スレー	ボブスレー	サッポロティネ	男子2人乗り												●						
			男子4人乗り																	●	
			女子2人乗り														●				
	スケルトン	サッポロティネ	男子									●									
リュージュ		サッポロティネ	男子1人乗り			●															
			女子1人乗り					●													
			2人乗り							●											
			チームリレー								●										
カーリング		北海きたえーる	男子																		●
			女子																	●	
バイアスロン		西岡バイアスロン競技場	男子スプリント			●															
			男子15km													●					
			男子20km								●										
			男子バシュート					●													
			男子4×7.5kmリレー																	●	
			女子スプリント				●														
			女子12.5km												●						
			女子15km									●									
			女子バシュート					●													
			女子4×6kmリレー																●		
			混合リレー														●				

男子予選	女子予選	チーム/混合予選	男子決勝	女子決勝	チーム/混合決勝	G: ガーラ
------	------	----------	------	------	----------	--------



競技プログラム



パラリンピック

※ソチパラリンピック2014の開催競技を想定

競技・種目		会場	種目	3/6 (金)	3/7 (土)	3/8 (日)	3/9 (月)	3/10 (火)	3/11 (水)	3/12 (木)	3/13 (金)	3/14 (土)	3/15 (日)	
開会式・閉会式		札幌ドーム	-	開会式									閉会式	
アルペン スキー	アルペン	ニセコ	男子 回転							●				
			男子 大回転									●		
			男子 スーパー大回転			●								
			男子 滑降		●									
			男子 スーパー複合									●		
			女子 回転							●				
			女子 大回転											●
			女子 スーパー大回転				●							
			女子 滑降		●									
			女子 スーパー複合									●		
	スノーボード (立位)	サッポロテニスキー場、 札幌国際スキー場、 さっぽろばんけいスキー場のうち いずれか	男子 パラスノーボードクロス									●		
			女子 パラスノーボードクロス									●		
バイアスロン		西岡バイアスロン競技場	男子 7.5km		●									
			男子 12.5km					●						
			男子 15km									●		
			女子 6km		●									
			女子 10km					●						
			女子 12.5km									●		
クロスカントリースキー		白旗山競技場	男子 1 km スプリント						●					
			男子 10km フリー											●
			男子 15km (座位)			●								
			男子 20km クラシカル (立位・視覚障がい)				●							
			女子 1km スプリント						●					
			女子 5km フリー											●
			女子 12km (座位)			●								
			女子 15km クラシカル (立位・視覚障がい)				●							
			4x2.5km 混合リレー (男女・カテゴリー混合)											●
			4x2.5km オープンリレー (男女・カテゴリー混合)											●
アイスレジャホッケー (座位)		月寒体育館	男子								●			
車いすカーリング (座位)		北海きたえーる	混合								●			

※ () がない競技・種目は立位・座位・視覚障がいの3つのカテゴリー

男子予選	女子予選	チーム/混合予選	男子決勝	女子決勝	チーム/混合決勝	G: ガーラ
------	------	----------	------	------	----------	--------

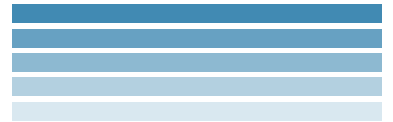
競技会場一覧

オリンピック

競技	種目	競技会場	競技会場以外に想定している練習会場
開会式・閉会式		札幌ドーム	-
スキー	アルペン	ニセコ	朝里川温泉スキー場 キロロ・スノーワールド ルスツリゾート 夕張マウントレースイスキー場 かもい岳スキー場 富良野スキー場 カムイスキーリンクス サホロリゾートスキー場 士別市日向スキー場 士別市あさひスキー場 名寄市ピヤシリスキー場 滝上町桜ヶ丘スキー場 北見市若松市民スキー場 釧路市国設阿寒湖畔スキー場
	クロスカントリー	白旗山競技場	野幌総合運動公園 大滝歩くスキーコース 富沢クロスカントリースキー 旭岳クロスカントリースキーコース 士別市朝日クロスカントリースキーコース チセネシリクロスカントリーコース
	ジャンプ	大倉山ジャンプ競技場 宮の森ジャンプ競技場	士別市朝日三望台ジャンツェ
	ノルディック複合	円山総合運動場 大倉山ジャンプ競技場 宮の森ジャンプ競技場	旭岳クロスカントリースキーコース 名寄市ピヤシリジャンツェ なよろ健康の森クロスカントリーコース
	フリースタイル	サッポロティネススキー場 札幌国際スキー場 さっぽろばんけいスキー場	札幌藻岩山スキー場 藤野野外スポーツ交流施設 (Fu's) 夕張マウントレースイスキー場 サホロリゾートスキー場 名寄市ピヤシリスキー場 美深スキー場 エアリアルコース
	スノーボード	サッポロティネススキー場 札幌国際スキー場 さっぽろばんけいスキー場	藤野野外スポーツ交流施設 (Fu's) ルスツリゾート 夕張マウントレースイスキー場 旭川サンタプレゼントパーク 名寄市ピヤシリスキー場
スケート	スピードスケート	真駒内公園屋外競技場 または 明治北海道十勝オーバル	苫小牧ハイランドスポーツセンター 北見市民スケートリンク 釧路市柳町スピードスケート場 中標津町運動公園
	フィギュアスケート	真駒内公園屋内競技場	美香保体育館 星置スケート場 白鳥王子アイスアリーナ 苫小牧市沼ノ端スケートセンター 苫小牧新ときわスケートセンター 釧路市柳町アイスホッケー場 釧路市春採アイスアリーナ
	ショートトラック	真駒内公園屋内競技場	美香保体育館 星置スケート場 釧路市柳町アイスホッケー場



競技会場一覧



オリンピック

競技	種目	競技会場	競技会場以外に想定している練習会場
アイス ホッケー	男子	スポーツ交流施設 コミュニティドーム（つどーむ）	美香保体育館 星置スケート場 白鳥王子アイスアリーナ 苫小牧市沼ノ端スケートセンター 苫小牧新ときわスケートセンター 帯広の森アイスアリーナ
	女子	月寒体育館	帯広の森第二アイスアリーナ 大雪アリーナ 北見市民スケートリンク 釧路市柳町アイスホッケー場 釧路市春採アイスアリーナ 日本製紙アイスアリーナ（釧路アイスアリーナ） 中標津町運動公園
ボブ スレー	ボブスレー	サッポロティネ	-
	スkeleton	サッポロティネ	-
リュージュ		サッポロティネ	-
カーリング		北海きたえーる	どうぎんカーリングスタジアム 妹背牛町カーリングホール アドヴィックス常呂カーリングホール
バイアスロン		西岡バイアスロン競技場	旭岳クロスカントリースキーコース 士別市朝日クロスカントリースキーコース

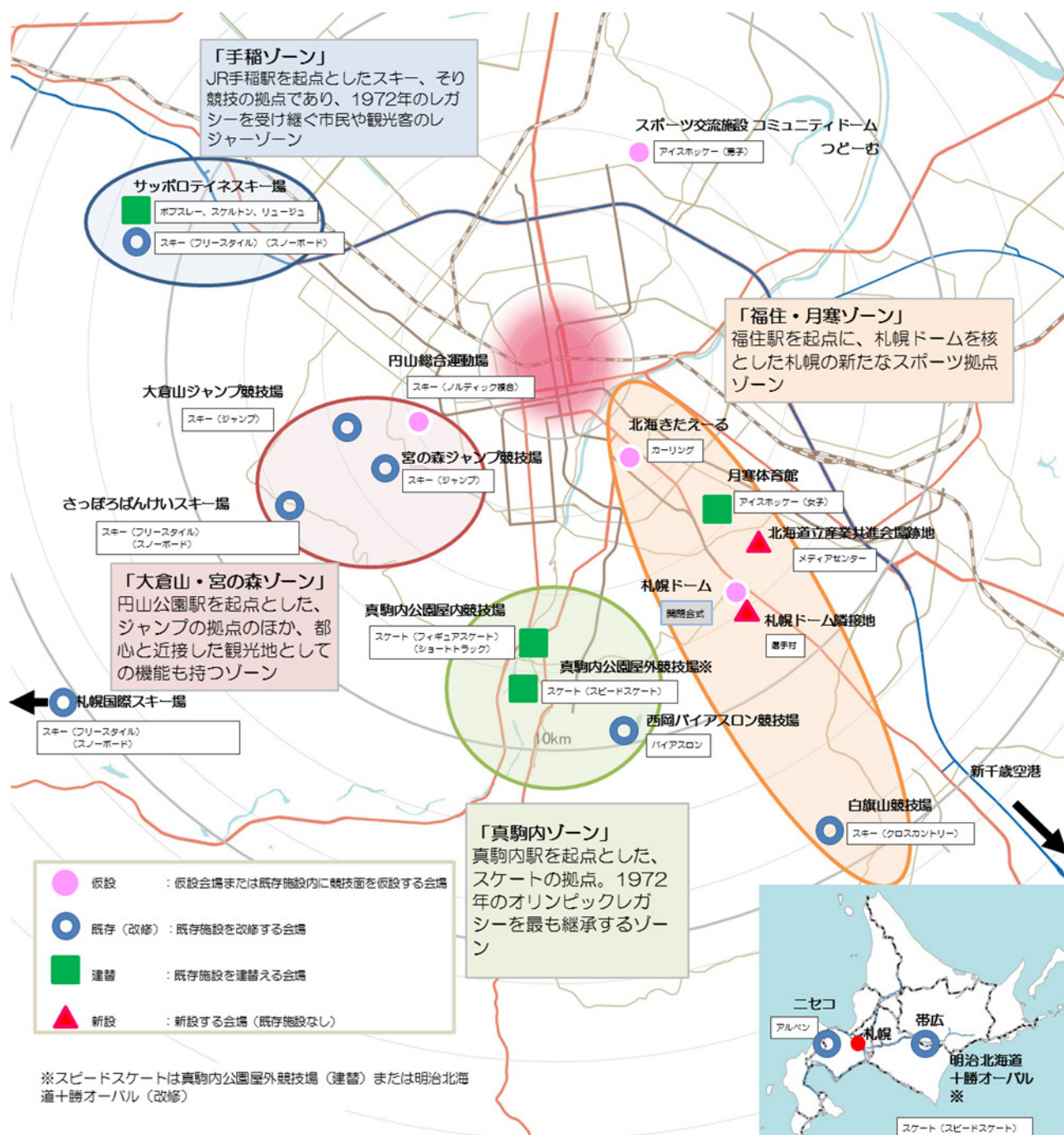
パラリンピック

競技	種目	会場
開会式・閉会式		札幌ドーム
アルペン スキー	アルペン	ニセコ
	スノーボード	サッポロティネスキー場、 札幌国際スキー場、 さっぽろばんけいスキー場のうちいずれか
バイアスロン		西岡バイアスロン競技場
クロスカントリースキー		白旗山競技場
アイススレッジホッケー		月寒体育館
車いすカーリング		北海きたえーる

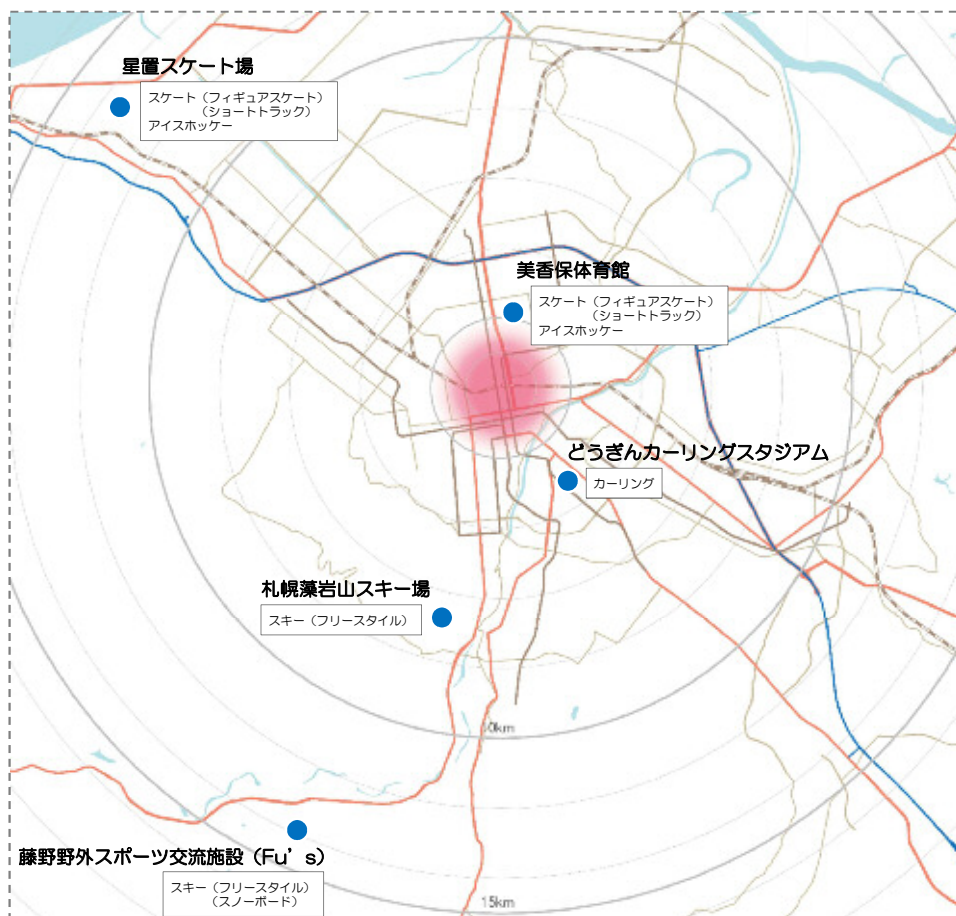
※バイアスロンとクロスカントリーについては同会場での開催を検討

競技会場MAP

1972年大会のレガシーを活かした3つの「メモリアルエリア」（手稲ゾーン、大倉山・宮の森ゾーン、真駒内ゾーン）と、札幌ドームを中心とした新たなスポーツゾーンを形成する「総合スポーツエリア」（福住・月寒ゾーン）で構成。



練習会場MAP

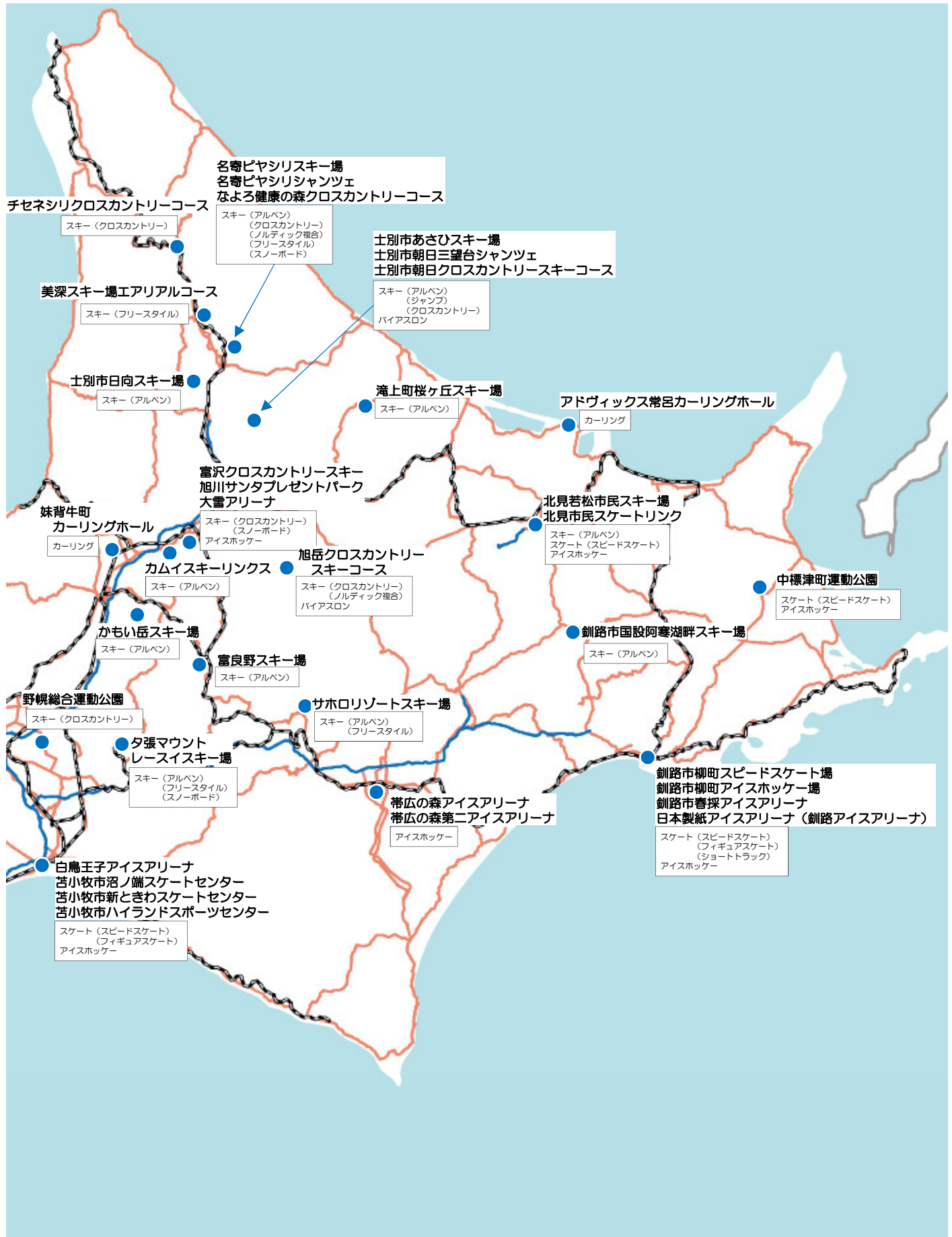


- 選手にとってベストな環境を整えます。
- スポーツコミッションを中心とした調全体制を整え、平昌、北京オリパラを含む合宿誘致に取り組めます。
- 全道各地の魅力が高まるよう、レガシーとしての後利用促進を図っていきます。



※競技会場以外に想定している練習会場のみを表示

練習会場MAP



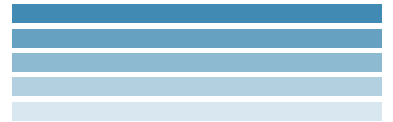
会場間の距離・移動時間一覧表

000.0 距離 (km)		会場No.								
000 移動時間 (分)		1	2	3	4	5	6	7	8	9
会場No.	会場名	札幌ドーム	白旗山競技場	大倉山ジャンプ競技場	宮の森ジャンプ競技場	円山総合運動場	サッポロティネスキースキー場	札幌国際スキースキー場	さっぽろばんけいスキースキー場	真駒内公園屋外競技場
1	札幌ドーム	—	7.7	12.2	12.4	11.0	31.8	61.6	13.7	7.6
		—	17	27	28	24	38	77	29	17
2	白旗山競技場	7.7	—	20.2	20.4	18.9	38.7	68.5	21.6	14.5
		17	—	45	45	42	47	86	48	32
3	大倉山ジャンプ競技場	12.2	20.2	—	1.9	1.7	16.7	46.6	3.1	10.4
		27	45	—	4	4	32	71	7	23
4	宮の森ジャンプ競技場	12.4	20.4	1.9	—	2.4	17.4	47.3	3.1	10.6
		28	45	4	—	5	33	73	7	24
5	円山総合運動場	11.0	18.9	1.7	2.4	—	15.5	45.3	3.6	9.3
		24	42	4	5	—	29	68	8	21
6	サッポロティネスキースキー場	31.8	38.7	16.7	17.4	15.5	—	42.8	18.6	24.9
		38	47	32	33	29	—	77	36	50
7	札幌国際スキースキー場	61.6	68.5	46.6	47.3	45.3	42.8	—	49.4	38.0
		77	86	71	73	68	77	—	77	84
8	さっぽろばんけいスキースキー場	13.7	21.6	3.1	3.1	3.6	18.6	49.4	—	9.1
		29	48	7	7	8	36	77	—	20
9	真駒内公園屋外競技場	7.6	14.5	10.4	10.6	9.3	24.9	38.0	9.1	—
		17	32	23	24	21	50	84	20	—
10	真駒内公園屋内競技場	7.2	14.0	9.9	10.1	8.6	24.0	38.8	9.6	1.3
		16	31	22	22	19	48	86	21	3
11	スポーツ交流施設 コミュニティドーム (つどーむ)	14.8	21.7	12.7	13.4	11.5	19.5	49.2	14.6	16.4
		21	31	28	30	26	29	68	32	36
12	月寒体育館	1.8	9.5	11.4	11.7	10.3	32.0	61.8	12.9	7.5
		4	21	25	26	23	38	77	29	17
13	北海きたえーる	4.7	12.6	9.1	9.3	7.6	23.5	53.1	10.6	7.0
		10	28	20	21	17	38	77	24	16
14	西岡バイアスロン競技場	7.2	13.9	14.9	15.1	13.7	38.5	41.2	13.9	5.7
		16	31	33	34	30	53	92	31	13
15	ニセコ	93.8	102.0	103.0	104.0	102.0	99.1	88.1	92.5	87.2
		123	133	122	123	120	122	115	121	114
16	明治北海道十勝オーバル	183.0	183.0	207.0	208.0	206.0	211.0	241.0	199.0	191.0
		138	138	155	157	154	156	184	158	148
17	選手村 (札幌ドーム隣接地)	0.5	7.2	12.7	12.9	11.5	32.2	61.8	14.2	8.1
		1	16	28	29	26	39	77	30	18
18	メディアセンター (北海道立産業共進会場跡地)	1.9	9.3	12.9	13.1	11.2	30.9	60.7	16.9	8.5
		4	21	29	29	25	36	75	38	19
19	空港／新千歳空港	42.0	41.7	65.6	66.3	64.7	70.2	99.9	68.9	49.4
		52	52	70	72	68	75	108	78	69
20	JR札幌駅	8.8	17.8	6.8	7.5	5.0	19.1	48.9	8.7	9.8
		20	40	15	17	11	29	68	19	22

※会場間の最短時間ルートの距離、移動時間を表示。移動時間は、札幌市内の高速道路・一般道路別平均速度および北海道内（札幌市を除く）の高速道路・一般道路別平均速度に基づき算出。



会場間の距離・移動時間一覧表



会場No.

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
真駒内公園屋 内競技場	スポーツ交流 施設コミュニ ティドーム (つどーむ)	月寒体育館	北海きたえー る	西岡 バイアスロン 競技場	ニセコ	明治北海道十 勝オーバル	選手村 (札幌ドーム 隣接地)	メディア センター (北海道立産 業共進会場跡 地)	空港/ 新千歳空港	JR札幌駅	会場No.
7.2	14.8	1.8	4.7	7.2	93.8	183.0	0.5	1.9	42.0	8.8	1
16	21	4	10	16	123	138	1	4	52	20	
14.0	21.7	9.5	12.6	13.9	102.0	183.0	7.2	9.3	41.7	17.8	2
31	31	21	28	31	133	138	16	21	52	40	
9.9	12.7	11.4	9.1	14.9	103.0	207.0	12.7	12.9	65.6	6.8	3
22	28	25	20	33	122	155	28	29	70	15	
10.1	13.4	11.7	9.3	15.1	104.0	208.0	12.9	13.1	66.3	7.5	4
22	30	26	21	34	123	157	29	29	72	17	
8.6	11.5	10.3	7.6	13.7	102.0	206.0	11.5	11.2	64.7	5.0	5
19	26	23	17	30	120	154	26	25	68	11	
24.0	19.5	32.0	23.5	38.5	99.1	211.0	32.2	30.9	70.2	19.1	6
48	29	38	38	53	122	156	39	36	75	29	
38.8	49.2	61.8	53.1	41.2	88.1	241.0	61.8	60.7	99.9	48.9	7
86	68	77	77	92	115	184	77	75	108	68	
9.6	14.6	12.9	10.6	13.9	92.5	199.0	14.2	16.9	68.9	8.7	8
21	32	29	24	31	121	158	30	38	78	19	
1.3	16.4	7.5	7.0	5.7	87.2	191.0	8.1	8.5	49.4	9.8	9
3	36	17	16	13	114	148	18	19	69	22	
—	15.3	6.8	6.1	5.2	88.0	190.0	7.7	7.8	49.0	8.9	10
—	34	15	14	12	115	147	17	17	68	20	
15.3	—	15.0	9.8	21.5	105.0	194.0	15.2	13.4	53.2	7.7	11
34	—	22	22	36	124	142	22	27	53	17	
6.8	15.0	—	3.3	7.2	93.7	187.0	2.3	1.5	45.5	7.5	12
15	22	—	7	16	122	140	5	3	53	17	
6.1	9.8	3.3	—	8.3	94.0	189.0	5.2	4.8	48.0	4.8	13
14	22	7	—	18	123	143	12	11	59	11	
5.2	21.5	7.2	8.3	—	90.5	190.0	7.7	8.0	48.9	13.8	14
12	36	16	18	—	118	147	17	18	68	31	
88.0	105.0	93.7	94.0	90.5	—	289.0	94.3	95.8	111.0	105.0	15
115	124	122	123	118	—	256	123	125	145	121	
190.0	194.0	187.0	189.0	190.0	289.0	—	182.5	186.0	157.0	200.0	16
147	142	140	143	147	256	—	137	139	122	148	
7.7	15.2	2.3	5.2	7.7	94.3	182.5	—	2.4	41.5	9.3	17
17	22	5	12	17	123	137	—	5	51	21	
7.8	13.4	1.5	4.8	8.0	95.8	186.0	2.4	—	40.9	8.8	18
17	27	3	11	18	125	139	5	—	49	20	
49.0	53.2	45.5	48.0	48.9	111.0	157.0	41.5	40.9	—	54.4	19
68	53	53	59	68	145	122	51	49	—	55	
8.9	7.7	7.5	4.8	13.8	105.0	200.0	9.3	8.8	54.4	—	20
20	17	17	11	31	121	148	21	20	55	—	

日本最北の全天候型ドームで開閉会式を開催

札幌ドーム



2001年にオープンし、2002年サッカー日韓ワールドカップや2007年ノルディックスキー世界選手権等において競技会場として使用された既存の札幌ドームを開閉会式会場として利用します。



会場名	札幌ドーム
所在地	札幌市豊平区羊ヶ丘
整備手法	仮設
敷地面積	305,230m ²
建築面積	55,168m ²
延床面積	98,232m ²
観客席数	固定席：41,484席 最大収容人数：53,738人

開会式／閉会式

建設コンセプト

都市の中にありながら北海道らしい自然の広がる札幌の丘陵に、北海道最大、そして日本最北の全天候型ドームとして開業し、サッカーと野球2つのプロチームの本拠地となっている世界でも数少ない多目的スタジアムです。

運営機能

札幌の中心市街地へのアクセスが良く、観客のアクセスは主に地下鉄の利用を想定します。

地下鉄駅からは、安全かつ高揚感のあるアクセスルートを整備します。更に、選手・関係者の動線との交錯がないよう配慮します。

駐車場

普通車：1,434台、大型車：17台

環境

札幌ドームは「環境方針」に基づき、利用者の協力により、未来の子どもたちのために「環境にやさしい施設」を目指す活動に取り組んでいます。

（環境方針）

私たちは、みらいの子供たちに美しい地球を残し、札幌ドームを環境にやさしい施設として維持し続けることを使命として、訪れるすべてのお客さまとともに、よりよい環境づくりに向けて取り組みます。

（2008年3月策定）

後利用

2026年大会後も引き続き、スポーツ&エンターテインメントの発信地として活用します。

安全対策

4万人を超える大観衆を受け入れる施設として、万全の警備・危機管理体制を提供します。金属探知システムや最先端の生体認証システムを活用した入場管理システムを導入するとともに、会場全体の監視システムを導入し、十分な安全対策を講じます。

また、観客動線と完全に分離した車両動線を敷地内に整備することで、緊急時のスムーズな対応や雑踏事故を防ぐ計画とします。

交通輸送

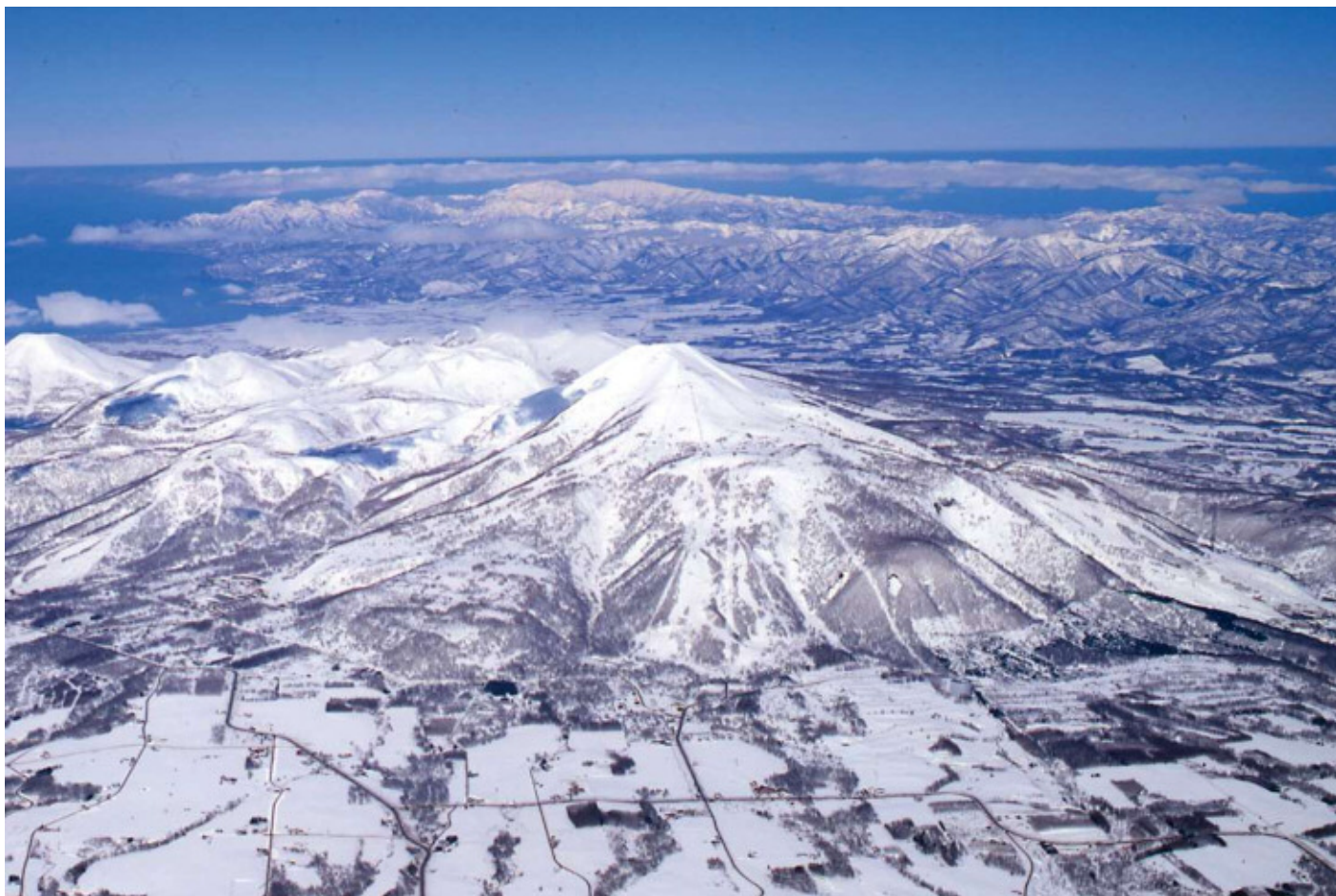
選手村	0.5 km / 1 min
新千歳空港	42.0 km / 52 min
JR札幌駅	8.8 km / 20 min

● 仮設
● 既存（改修）
■ 建替
▲ 新設



世界有数のリゾートで新たなレガシーを

ニセコ



ニセコ地区は1960年代から開発が進み、いまでは大規模な民間リゾートが複数整備されています。海外から注目されるリゾート地で、継続的に開発投資が進み、現在では国際的に開かれた、リゾート地の代表的役割を担っています。

標高1,308mのニセコアンヌプリを利用した大規模なスキー場が展開され、最長滑走距離5,000mを誇るコースから初心者コースまで、広く愛好者から親しまれています。

平成26年9月、国道393号が全線開通し、高速道路の整備など札幌市内からのアクセス性が向上しています。また、北海道新幹線の延伸も計画されており、ニセコ地区全体がより活性化が図られています。

競技会場	ニセコ
所在地	北海道虻田郡倶知安町、ニセコ町
整備手法	既存改修
競技施設	標高差：930m～960m、 全長：3,000m以上
観客席数	固定席：8,000席、立見席：10,000席

スキー・アルペン（回転、大回転、スーパー大回転、滑降）

建設コンセプト

冬季オリンピックで最もダイナミックでエキサイティングな競技である滑降は、大規模なスキー場において、北海道らしさを世界に発信する配置・施設計画が必要です。

メイン会場となる札幌市とのアクセス性、各種サービス施設の展開性、アルペン競技場としての自然条件を最大限活かし、競技・観戦空間を創出します。

運営機能

ニセコのスキー場特性を活かし、アルペン滑降コースを効率良く配置します。また、既存の施設を巧みに利用する計画立案により、選手・競技関係者・観客すべての需要に効率的で快適なサービスを提供します。

競技関連諸室：4,100㎡／
オリンピックファミリー用諸室：600㎡／
メディア用諸室：6,900㎡／運営用諸室：6,200㎡／
その他諸室：2,900㎡

環境

競技コースは可能な限り既存グレンデで実施します。また、各種サービス施設は、現施設空間を効率的に利用し、環境にやさしい整備を実現します。

選手を初めとしたすべての利用者への十分なサービスと、安全・安心の提供を目的に整備を進めます。

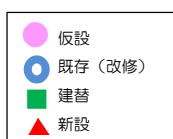
仮設により発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

最先端の生態認証システムを活用した入場監理システムを導入するとともに、山側からの進入を防ぐために必要な設備や警備員を配置し、エリア一帯を24時間体制で広域的に監視する体制を整えます。

交通輸送

選手村	周辺の宿泊施設を活用
新千歳空港	111.0 km / 145 min
JR札幌駅	105.0 km / 121 min



駐車場

普通車：436台

後利用

ホテルなど既存施設の活用を前提とします。

また、オリンピック開催会場となることで、これまで以上に世界からの認知度が高まることも見込まれ、民間投資の促進を図ります。



スキー・クロスカントリー

起伏に富んだアジア初のFIS公認コースを使用
スキーの総合的走力をダイナミックに競い合う会場を整備

白旗山競技場



白旗山競技場は本格的なクロスカントリー・スキー距離競技場として、1990年12月に完成しました。全長25kmの起伏に富んだコースは、第2回冬季アジア競技大会を皮切りに、ユニバーシアード冬季大会や2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会など、いくつもの国際大会の開催実績を有します。

2026年札幌大会時には、クロスカントリースキーの会場となり、多くの観客が訪れます。

競技会場	白旗山競技場
所在地	札幌市清田区真栄
整備手法	既存改修
競技施設	全長：25km コース長：一周2.5km、3.3km、3.75km、5.0km
観客席数	固定席：3,000席、立見席：10,000席

スキー・クロスカントリー

建設コンセプト

都市に隣接する起伏に富んだ樹林地を活用して、美しい自然風景の中で総合的な走力を競うことのできるコースを整備します。既存のコースをリノベーションすることで、環境への負荷を最小限に抑えます。

運営機能

選手村から16分という好立地は、移動による選手への負担を抑えます。観客のアクセスには地下鉄駅等から発着するシャトルバスを運行します。

競技関連諸室：6,800㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：6,900㎡／運営用諸室：6,100㎡／その他諸室：2,800㎡

環境

会場の整備に伴う森林伐採は極力行わず、選手・関係者・観客等が安全・安心に、雪山で滞在できることを目的とした整備を行います。

仮設により発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

最先端の生態認証システムを活用した入場監理システムを導入するとともに、山側からの進入を防ぐために必要な設備や警備員を配置し、エリア帯を24時間体制で広域的に監視する体制を整えます。

交通輸送

選手村	7.2 km / 16 min
新千歳空港	41.7 km / 52 min
JR札幌駅	17.8 km / 40 min

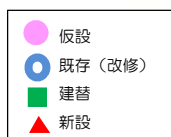
駐車場

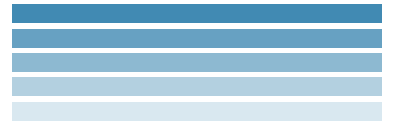
普通車：366台



後利用

2026年のオリンピックをはじめとする数々の世界選手権を経験した白旗山競技場は、世界から注目されつづけるノルディックスキー場の拠点として活用されます。





街に向かって飛び立つ札幌人気の観光スポット

大倉山ジャンプ競技場



大倉山ジャンプ競技場は1931年に開設以来、数々の世界的な大会が行なわれてきています。特に、1972年の札幌冬季オリンピックでの利用は、世界中へその存在を認知される契機となり、世界中のジャンパーから愛される競技場の一つとなりました。

また敷地内のウィンタースポーツミュージアムは、冬のスポーツ文化やオリンピック教育の拠点となっています。

札幌市内を一望できる立地のため、市内を眺望する景勝地としても親しまれており、広く世界中の方にレジェンドとして伝えられる競技場です。

競技会場	大倉山ジャンプ競技場
所在地	札幌市中央区宮の森
整備手法	既存改修
敷地面積	111,000㎡
競技施設	K点：120m、ヒルサイズ：134m
観客席数	固定席 3,000席、立見席：10,000席

建設コンセプト

札幌市内を一望できる伝統あるジャンプ競技場を、より強い印象を持って世界に伝えることのできる配置・施設計画とします。

都心に近接したメリットを最大限活かし、各種オリンピック施設との効率的・円滑な連携を実現し、選手・関係者にとって快適な競技空間を創出するほか、観客が気軽に競技に触れることのできる空間を整備します。

既存施設の必要最小限の改修と、関連工事の実現により、「環境の時代」のオリンピック施設の象徴とします。

運営機能

歴史あるジャンプ競技場の改修と既存施設を効率的に利用する計画により、運営機能のコンパクト化を目指します。また、選手・関係者への負荷を低減する確かな施設計画を行なうとともに、観客動線・サービス施設の充実を図ります。

競技関連諸室：3,300㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：6,900㎡／運営用諸室：6,200㎡／その他諸室：2,900㎡

環境

ラージヒルの一部改修にあたっては、地形特性を十分に活かし、大規模な工事を削減した計画とします。各種サービス施設の配置計画も、現施設空間を効率的に利用し、環境にやさしい整備を実現します。

選手をはじめとしたすべての利用者への十分なサービスと、安全・安心の提供を目的に整備を進めます。

仮設により発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

最先端の生態認証システムを活用した入場監理システムを導入するとともに、山側からの進入を防ぐために必要な設備や警備員を配置し、エリア帯を24時間体制で広域的に監視する体制を整えます。

交通輸送

選手村	12.7 km / 28 min
新千歳空港	65.6 km / 70 min
JR札幌駅	6.8 km / 15 min

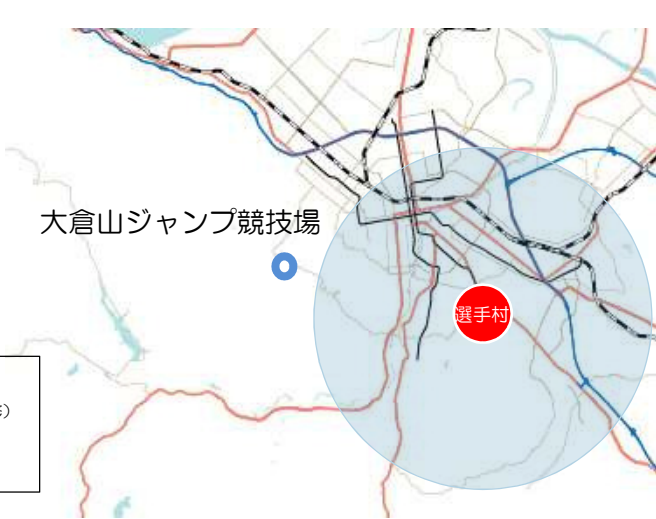
駐車場

普通車：366台



後利用

競技人口を支える新たな施設としての役割、観光景勝地としての交流人口の増加が期待されます。また、歴史を踏襲した改修整備により大倉山のレジェンドを改めて世界に発信することとなります。



札幌オリンピックの輝かしい記録が刻まれたレガシー

宮の森ジャンプ競技場



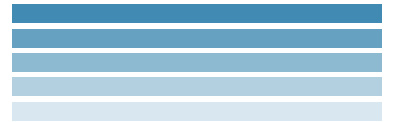
宮の森ジャンプ競技場は1970年に開設されて以来、数々の世界的な大会が行なわれてきています。特に、1972年に開催された札幌冬季オリンピックの70m級ジャンプ競技では、日本人選手が金・銀・銅メダルを独占したことで世界中へその存在を認知される競技場の一つとなりました。

札幌都心部から近い立地であることから、多くの観客が訪れ、大倉山ジャンプ競技場と並び、広く世界中の方にレジェンドとして伝えられる競技場です。

競技会場	宮の森ジャンプ競技場
所在地	札幌市中央区宮の森1条18丁目
整備手法	既存改修
敷地面積	62,000㎡
競技施設	K点：90m、ヒルサイズ：100m
観客席数	固定席 3,000席、立見席：10,000席



スキー・ジャンプ（ノーマルヒル） スキー・ノルディック複合（ジャンプ）



建設コンセプト

伝統あるジャンプ競技場を、より強い印象を持って世界に伝えることのできる配置・施設計画とします。
都心に近接したメリットを最大限活かし、各種オリンピック施設との効率的・円滑な連携を実現し、選手・関係者にとって快適な競技空間を創出するほか、観客が気軽に競技に触れることのできる空間を整備します。
既存施設の必要最小限の改修と、関連工事の実現により、「環境の時代」のオリンピック施設の象徴とします。

運営機能

歴史あるジャンプ競技場の改修と既存施設を効率的に利用する計画により、運営機能のコンパクト化を目指します。また、選手・関係者への負荷を低減する確かな施設計画を行なうとともに、観客動線・サービス施設の充実を図ります。

競技関連諸室：3,300㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：6,900㎡／運営用諸室：6,200㎡／その他諸室：2,900㎡

環境

ノーマルヒルの一部改修にあたっては、地形特性を十分に活かし、大規模な工事を削減した計画とします。各種サービス施設の配置計画も、現施設空間を効率的に利用し、環境にやさしい整備を実現します。
選手をはじめとしたすべての利用者への十分なサービスと、安全・安心の提供を目的に整備を進めます。
仮設により発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

最先端の生態認証システムを活用した入場監理システムを導入するとともに、山側からの進入を防ぐために必要な設備や警備員を配置し、エリア帯を24時間体制で広域的に監視する体制を整えます。

交通輸送

選手村	12.9 km / 29 min
新千歳空港	66.3 km / 72 min
JR札幌駅	7.5 km / 17 min



駐車場

普通車：366台



後利用

歴史を踏襲した改修整備により、宮の森のレジェンドを改めて世界に発信することとなります。



スキー・ノルディック複合（クロスカントリー）

ジャンプ会場に近く、2つのスタジアムを活用した仮設コース

円山総合運動場



円山総合運動場は、1934年に陸上競技場が開業し、その後硬式野球場、テニスコート等の整備が進められた札幌市民・北海道民に親しまれる空間です。

既存施設の高低を利用した新しいクロスカントリーコースの検討を行ないます。

競技場の特性から、観客席等の設置は十分な規模で整備されているため、低コストで個性的なクロスカントリーコースの整備が可能です。

競技会場	円山総合運動場
所在地	札幌市中央区宮が丘
整備手法	仮設
敷地面積	110,000㎡
競技施設	コース長：一周2.5km
観客席数	固定席：3,000席、立見席：10,000席

スキー・ノルディック複合（クロスカントリー）

建設コンセプト

競技場設置に係る工事の削減、環境への負荷低減を考慮した場合、既存で利用できる空間を魅力的なクロスカントリーコースに設定することが必要です。

さらに、メイン会場とのアクセス性、各種サービス施設の展開性においては、陸上競技場等の利用を前提とすることは、大会の趣旨にも合致するものです。

選手・関係者・観客すべてにとって、身近で気軽な競技空間を提供します。

運営機能

総合運動公園として、現に有する機能を最大限活用します。既存施設の有効利用計画に加え、補完施設の計画を効果的に実施します。

すべての方に、新鮮で親しみ易い空間提供を第一に計画します。

競技関連諸室：3,200㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：6,900㎡／運営用諸室：6,100㎡／その他諸室：2,900㎡

環境

基本的に新たな工事は行われないため、環境への負荷は最小限に抑えることが可能です。既存施設の巧みな連携と、補完施設の効果的な計画により、環境に優しい競技空間の設置を行いつつ、十分なサービスと安全・安心の提供が実現できます。

仮設により発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

最先端の生態認証システムを活用した入場監視システムを導入するとともに、外部からの進入を防ぐために必要な設備や警備員を配置し、エリア帯を24時間体制で広域的に監視する体制を整えます。

交通輸送

選手村	11.5 km / 26 min
新千歳空港	64.7 km / 68 min.
JR札幌駅	5.0 km / 11 min

駐車場

普通車：366台



後利用

大会前と同様に、陸上競技場、野球場、テニスコートとして利用されます。オリンピック競技に使用された空間として、札幌市民・北海道民に新たな誇りを生み出します。



アクセスの良い都市型スキー場から

雪上の華麗な演技と観客の熱気を世界へ

サッポロテイネスキー場・札幌国際スキー場・さっぽろばんけいスキー場



サッポロテイネスキー場は、1972年札幌大会の際、スキーアルペン競技の回転、大回転の会場として利用されました。

札幌国際スキー場は道内有数の温泉地である定山溪温泉からほど近く、北海道でも屈指のパウダースノーと広大なグレンデが自慢です。

さっぽろばんけいスキー場は都心から20分でアクセスでき、フリースタイルやスノーボードのアジア大会、ワールドカップが開催されています。

2026年札幌大会時にこれらのスキー場は、フリースタイル及びスノーボード競技の会場となり、多くの観客が訪れます。

競技会場	サッポロテイネスキー場 札幌国際スキー場 さっぽろばんけいスキー場
所在地	札幌市手稲区手稲金山 札幌市南区定山溪 札幌市中央区盤溪
整備手法	既存改修
競技施設	コース長：930m（スロープスタイル）、920m（クロス・スノーボードクロス）、700m（パラレル大回転）、440m（パラレル回転）、265m（モーグル）、165m（ハーフパイプ）、115m（エアリアル）
観客席数	固定席：4,000席、立見席：10,000席

建設コンセプト

市街地への眺望や市街地からの眺望を生かした都市との一体感、フリースタイルやスノーボードならではの躍動感が感じられる会場を整備します。

トップアスリートやトップアスリートに憧れて世界から集まった観客が、安全に安心して観戦を楽しむことができる屋外空間の整備を行います。

運営機能

観客は都心から専用バスなどにより、容易にアクセスできるよう検討します。また、会場が山の斜面に立地するため、車椅子利用者等へのサポート体制の充実や、リフト等による観客輸送設備の充実を図ります。

競技関連諸室：4,000㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡

／メディア用諸室：6,700㎡／運営用諸室：6,200㎡

／その他諸室：2,900㎡

環境

会場の整備に伴う森林伐採は極力行わない計画とします。仮設により発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

最先端の生態認証システムを活用した入場監理システムを導入するとともに、山側からの進入を防ぐために必要な設備や警備員を配置し、エリア帯を24時間体制で広域的に監視する体制を整えます。

交通輸送

サッポロ テイネ スキー場	選手村	32.2 km / 39 min
	新千歳空港	70.2 km / 75 min
	J R札幌駅	19.1 km / 29 min
札幌国際 スキー場	選手村	61.8 km / 77 min
	新千歳空港	99.9 km / 108 min
	J R札幌駅	48.9 km / 68 min
さっぽろ ばんけい スキー場	選手村	14.2 km / 30 min
	新千歳空港	68.9 km / 78 min
	J R札幌駅	8.7 km / 19 min

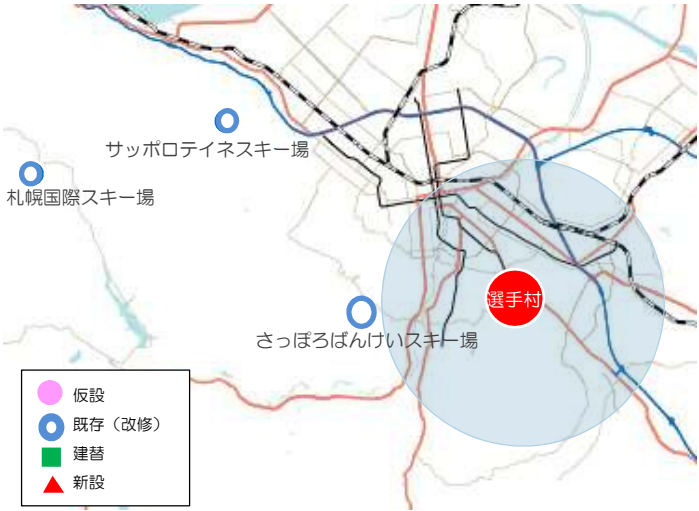
駐車場

普通車：サッポロテイネスキー場	356台
札幌国際スキー場	356台
さっぽろばんけいスキー場	356台



後利用

2026年大会後には、フリースタイルやスノーボードの技術を磨きたい若者や、その華麗な技に憧れる若者が世界中から集まるスキー場として活用されます。



1972年札幌オリンピックの記憶を継承する、スケート競技会場

真駒内公園屋外競技場（候補地1）



1972年札幌オリンピック冬季競技大会にて、開会式とスピードスケート競技会場として使用された真駒内屋外競技場を、屋根付きのスピードスケート競技会場としてリニューアルします。

2026大会時には、市内中心部からのアクセス性の良さを生かし、6,000人の観客を収容する会場となります。

競技会場	真駒内公園屋外競技場
所在地	札幌市南区真駒内公園
整備手法	建替
敷地面積	39,100㎡
延床面積	40,300㎡（予定）
競技施設	400mトラック
観客席数	固定席：6,000席

スケート・スピードスケート

建設コンセプト

既存のリンク形状を新設するオーバルに適用させることで、リンク全体を囲う臨場感あふれる空間を創出し、1972年札幌オリンピックのレガシーを継承する施設として整備します。

選手・関係者・観客のすべてが、安全かつ快適に移動し、利用できることを目的とした配置・動線計画とします。

運営機能

観客は地下鉄等の公共交通機関による来場を想定し、選手や関係者との交錯を最小限にします。

地下鉄駅からは、安全かつ高揚感のあるアクセスルートを整備します。更に、選手・関係者の動線との交錯がないよう配慮します。

競技関連諸室：1,800㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：4,900㎡／運営用諸室：6,200㎡／その他諸室：2,700㎡

環境

会場の整備に伴う、公園内の既存の樹木・植栽の伐採は極力行わず、1972年大会のレガシーを継承することを目的とした整備を行います。

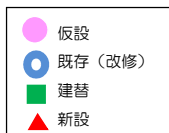
既存施設の解体および新設施設の建設時に発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するとともに、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

会場内は選手や大会関係者など、クライアント同士の交錯及び不審者や無関係者の侵入を防ぐため、認証カード等による入場監理を行います。また、会場はセキュリティエリアにより管理され、最先端の生態認証システムを活用した入場監理システム、会場全体の監視システムを導入し、十分な安全対策を講じます。

交通輸送

選手村	8.1 km / 18 min
新千歳空港	49.4 km / 69 min
JR札幌駅	9.8 km / 22 min



駐車場

普通車：351台



後利用

2026年大会後も、札幌のスケート文化の発信地として、冬はスピードスケートのほかフィギュアスケートやショートトラック、夏は他の競技・展示場・イベントホールとしての利用など、永く市民・道民に愛される施設となります。



既存施設を有効活用した、良質なスケート競技会場

明治北海道十勝オーバル（候補地２）



自然条件に左右されず、通年利用が可能な屋内リンク施設として整備された明治北海道十勝オーバルを、一部改修して利用します。

2026大会時には、6,000席を確保した競技会場とし、大会後はスピードスケートの拠点として、また、通年利用のスポーツ施設となります。

競技会場	明治北海道十勝オーバル
所在地	帯広市南町南7線
整備手法	既存改修
敷地面積	104,900㎡
建築面積	18,088.15㎡
延床面積	19,218.38㎡
競技施設	400mトラック
観客席数	固定席：6,000席

スケート・スピードスケート

建設コンセプト

良質なリンクを有する既存の施設を最大限に活かします。既存座席周縁に5,000人分の仮設席を設計し、白熱したスピードスケート競技を間近で観戦できる空間を整備します。

選手・関係者・観客のすべてが、安全かつ快適に移動し、利用できることを目的とした配置・動線計画とします。

運営機能

種々のスポーツ施設が一体的に整備され、スポーツの拠点として広く認識される帯広の森運動公園内にある会場であり、観客のアクセスは主にバスの利用を想定します。

バス停留所からは、安全かつ高揚感のあるアクセスルートを整備します。更に、選手・関係者の動線との交錯がないよう配慮します。

競技関連諸室：1,800㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：4,900㎡／運営用諸室：6,200㎡／その他諸室：2,700㎡

環境

会場の整備に伴う、帯広の森運動公園内の既存の樹木・植栽の伐採は極力行わず、既存の景観を活かした整備を行います。

既存施設の解体および新設施設の建設時に発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するとともに、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

会場内は選手や大会関係者など、クライアント同士の交錯及び不審者や無関係者の侵入を防ぐため、認証カード等による入場監理を行います。また、会場はセキュリティエリアにより管理され、最先端の生態認証システムを活用した入場監理システム、会場全体の監視システムを導入し、十分な安全対策を講じます。

交通輸送

選手村	182.5 km / 137 min
新千歳空港	157.0 km / 122 min
JR札幌駅	200.0 km / 148 min

- 仮設
- 既存（改修）
- 建替
- ▲ 新設

駐車場

普通車：351台



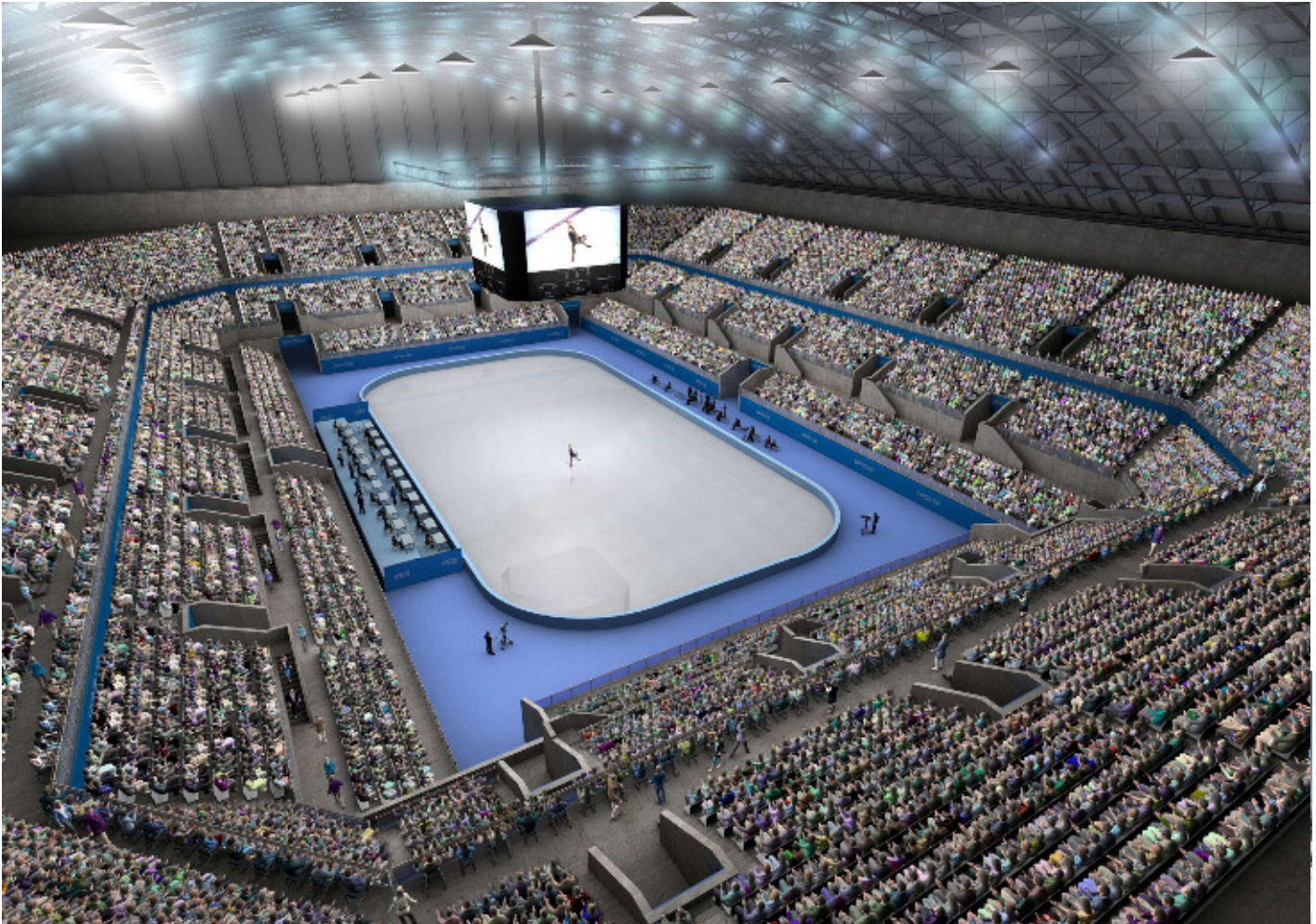
後利用

2026年大会後には、中地を利用した多目的なスポーツ施設として通年利用されるとともに、スピードスケート場として活用されます。



豊かな景観を生かした、大会最大規模の会場として計画

真駒内公園屋内競技場

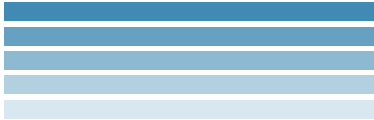


1972年札幌大会では、閉会式、フィギュアスケート・アイスホッケーの競技会場として使用された真駒内屋内競技場を、フィギュアスケート・ショートトラックの競技会場として建て替え、リニューアルを行います。

2026年札幌大会期間中は、札幌市内中心部からのアクセス性の良さを活かし、全競技で最大規模の12,000席を有する会場となります。

競技会場	真駒内公園屋内競技場
所在地	札幌市南区真駒内公園
整備手法	建替
敷地面積	50,000㎡
競技施設	リンクサイズ：30m×60m
観客席数	固定席：12,000席

スケート・フィギュアスケート スケート・ショートトラック



建設コンセプト

真駒内公園の既存の景観を活かし、1972年札幌オリンピックのレガシーを継承する施設として整備します。
12,000席の会場は、選手・関係者・観客のすべてが安全かつ快適に移動し、利用できる配置・動線計画とします。

運営機能

観客は地下鉄等の公共交通機関による来場を想定し、選手や関係者との交錯を最小限にします。また、会場内各運営諸室はクライアント別に快適で動きやすい配置計画とします。

競技関連諸室：1,900㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：6,700㎡
運営用諸室：5,600㎡／その他諸室：2,600㎡

環境

会場の整備に伴う、公園内の既存の樹木・植栽の伐採は極力行わず、1972年札幌大会のレガシーを継承することを目的とした計画とします。
既存施設の解体および新設施設の建設時に発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

会場内は選手や大会関係者など、クライアント同士の交錯及び不審者や無関係者の侵入を防ぐため、認証カード等による入場監理を行います。また、会場はセキュリティエリアにより管理され、最先端の生体認証システムを活用した入場監理システム、会場全体の監視システムを導入し、十分な安全対策を講じます。

交通輸送

選手村	7.7km / 17min
新千歳空港	49.0km / 68min
J R札幌駅	8.9km / 20 min



駐車場

普通車：366台



後利用

2026年札幌大会後も、札幌のスケート文化の発信地として、永く市民・道民に愛されるスケートリンクを目指します。また、夏場はイベントや展示会等の開催など、1年中賑わう多目的アリーナとなります。



アイスホッケー（男子）

市民に愛されてきたドーム施設を、氷上の格闘技の熱い戦いを世界に伝える会場に

スポーツ交流施設 コミュニティドーム（つどーむ）



スポーツ交流施設コミュニティドームは、全天候型施設としてスポーツだけでなく、式典やイベントでも利用され、「つどーむ」の愛称で市民から親しまれています。

2026大会時には10,000席を有するアイスホッケー（男子）の会場として熱戦の舞台となります。

競技会場	スポーツ交流施設 コミュニティドーム（つどーむ）
所在地	札幌市東区栄町
整備手法	仮設
敷地面積	135,889㎡
競技施設	リンクサイズ：30m×60m
観客席数	固定席：10,000席

アイスホッケー（男子）

建設コンセプト

ドームを有する既存の施設を最大限に活かす施設整備とします。仮設のアイスマットをセットするとともに、既存座席上部に10,000人分の仮設席を用意し、迫力あるアイスホッケーの試合を間近で観戦できる空間を整備します。また、建物周囲の広場等を有効活用し、運営諸室等を適切に配置します。

運営機能

観客は地下鉄等の公共交通機関による来場を想定し、選手や関係者との交錯を最小限にします。

さらに、会場内各運営諸室はクライアント別に快適で動きやすい配置計画とします。

競技関連諸室：3,700㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：4,700㎡／運営用諸室：6,200㎡／その他諸室：2,300㎡

駐車場

普通車：380台

環境

既存施設を最大限に使い、大規模な解体・建設を行わないことで、環境に配慮した施設計画とします。

仮設・改修により発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

後利用

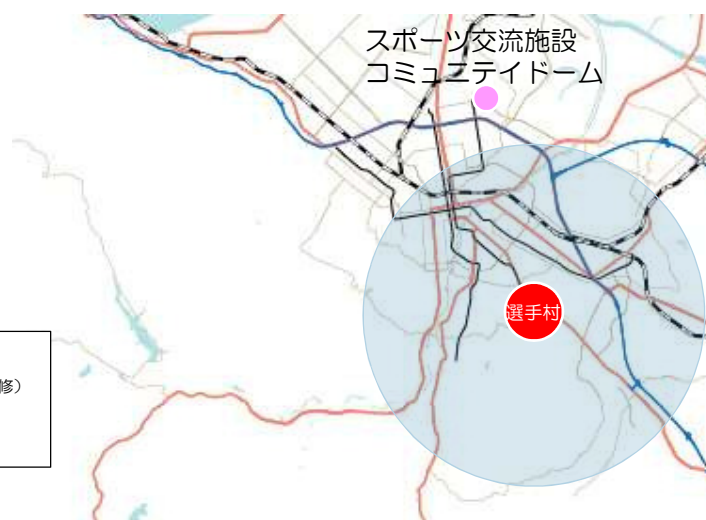
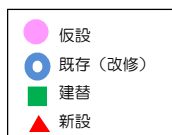
既存施設であるスポーツ交流施設コミュニティドーム（つどーむ）は、2026年札幌大会の競技会場として注目され、これまで以上に、市民・道民から愛されるスポーツ・イベント会場として活用されます。

安全対策

会場内は選手や大会関係者など、クライアント同士の交錯及び不審者や無関係者の侵入を防ぐため、認証カード等による入場監理を行います。また、会場はセキュリティエリアにより管理され、最先端の生態認証システムを活用した入場監理システム、会場全体の監視システムを導入し、十分な安全対策を講じます。

交通輸送

選手村	15.2 km / 22 min
新千歳空港	53.2 km / 53 min
JR札幌駅	7.7 km / 17 min



アイスホッケー（女子）

かつてのオリンピック会場を刷新 日本のアイスホッケーの拠点となる施設が競技会場に

月寒体育館



月寒体育館は、1972年札幌大会の際、アイスホッケーの会場として利用されました。現在は、通年型スケートリンクとなり、市民にも利用されています。

2026年札幌大会時には、6,000席を有する施設として建替えて再びアイスホッケー会場（女子）として活用し、大会後は、アジアにおけるアイスホッケーの拠点として活用されます。

競技会場	月寒体育館
所在地	札幌市豊平区月寒東1条8丁目
整備手法	建替
敷地面積	50,712㎡
競技施設	アリーナ規模：30m×60m
観客席数	固定席：6,000席

アイスホッケー（女子）

建設コンセプト

月寒体育館は1972年札幌大会でアイスホッケーの会場として整備され、その後もJOC認定競技別強化センターとなる等、アイスホッケーの拠点として親しまれてきました。その記憶を継承しつつ、老朽化した既存施設をIIHF（国際アイスホッケー連盟）の基準に準拠した最新のアイスホッケー場へ建て替えます。

運営機能

可能な限り運営関連諸室等を新施設内に配置します。また、観客のアクセスは主に地下鉄等の公共交通機関の利用を想定し、選手や関係者との交錯を最小限にします。

運営諸室は隣接している競技場等を活用しながら、コンパクトにまとめる計画を行います。

競技関連諸室：3,800㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：4,300㎡／運営用諸室：6,100㎡／その他諸室：1,700㎡

環境

会場の整備に伴う、公園内の既存の樹木・植栽の伐採は極力行わず、1972年大会のレガシーを継承することを目的とした計画とします。

既存施設の解体および新施設の建設時に発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

会場内は選手や大会関係者など、クライアント同士の交錯及び不審者や無関係者の侵入を防ぐため、認証カード等による入場監理を行います。また、会場はセキュリティエリアにより管理され、最先端の生態認証システムを活用した入場監理システム、会場全体の監視システムを導入し、十分な安全対策を講じます。

交通輸送

選手村	2.3 km / 5 min
新千歳空港	45.5 km / 53 min
JR札幌駅	7.5 km / 17 min

- 仮設
- 既存（改修）
- 建替
- ▲ 新設

駐車場

普通車：380台



後利用

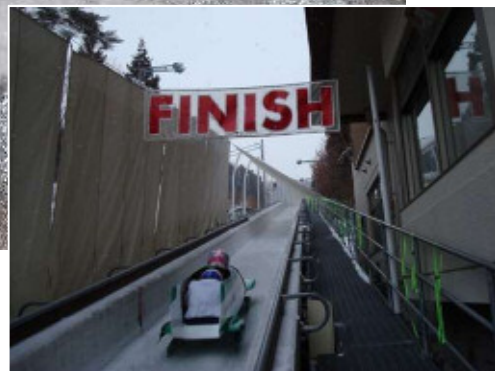
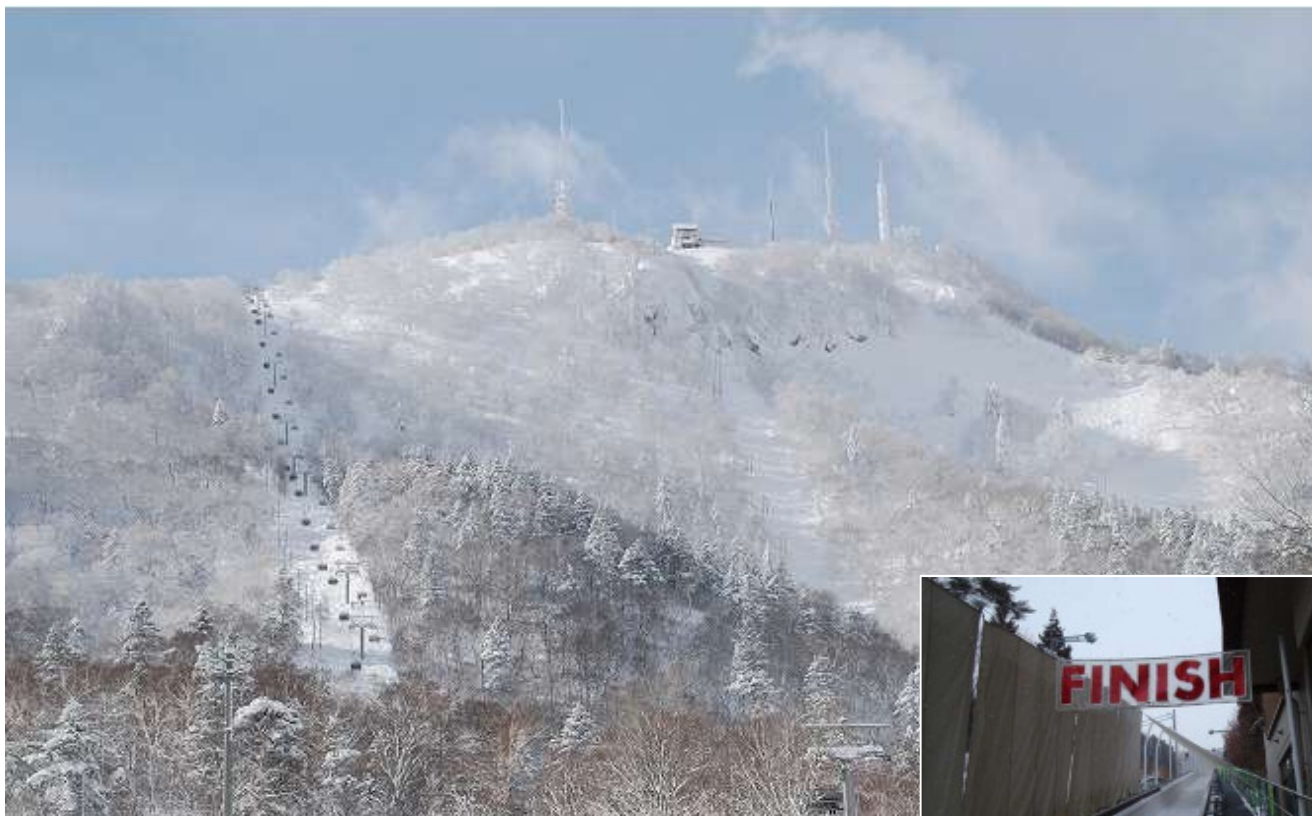
月寒体育館は2026年札幌大会後、2度のオリンピックを経験した場所となります。建て替えを経て最新の基準に準拠した新たなアイスホッケー場に生まれ変わり、アイスホッケーの拠点としてよりいっそう市民・道民に愛される施設となります。



ボブスレー／スケルトン／リュージュ

1972年札幌オリンピックの施設跡地を利用
その記憶を継承した新たなアジアの競技拠点となる会場に

サッポロティネ



札幌都心からのアクセスが良いサッポロティネに、設備やコンディションが世界トップレベルのコースを整備します。

1972年、札幌オリンピックでボブスレー・リュージュ会場として使用され、現在は閉鎖されている会場を再整備し、2026年からは、アジアにおけるボブスレー・スケルトン・リュージュの拠点として、世界に開かれた競技施設に生まれ変わります。

競技会場	サッポロティネ
所在地	札幌市手稲区手稲金山
整備手法	建替
競技施設	コース全長：1,500m、コース長：1,350m
観客席数	固定席：1,000席、立見席：10,000席

ボブスレー／スケルトン／リュージュ

建設コンセプト

1972年の会場を再整備し、世界トップクラスのコースと設備を整備します。冬季の平均気温が0度を下回る気象条件を活かして、人工アイススケートリンクと同等以上の上質な氷のコースを整備し、世界中の「氷の上のグランプリレーサー」を魅了します。

運営機能

札幌五輪から受け継がれてきたコース管理技術により、最高のコースコンディションを提供します。

競技関連諸室：14,000㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：6,200㎡／運営用諸室：6,200㎡／その他諸室：2,500㎡

環境

1972年札幌オリンピックのボブスレーコース跡地を活用するなど会場整備に伴う森林伐採は極力低減します。また、選手・関係者・観客等が安全・安心に、雪山で滞在できることを目指した計画とします。

仮設により発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

最先端の生態認証システムを活用した入場監視システムを導入するとともに、山側からの進入を防ぐために必要な設備や警備員を配置し、エリア帯を24時間体制で広域的に監視する体制を整えます。

交通輸送

選手村	32.2 km / 39 min
新千歳空港	70.2 km / 75 min
JR札幌駅	19.1 km / 29 min

- 仮設
- 既存（改修）
- 建替
- ▲ 新設

駐車場

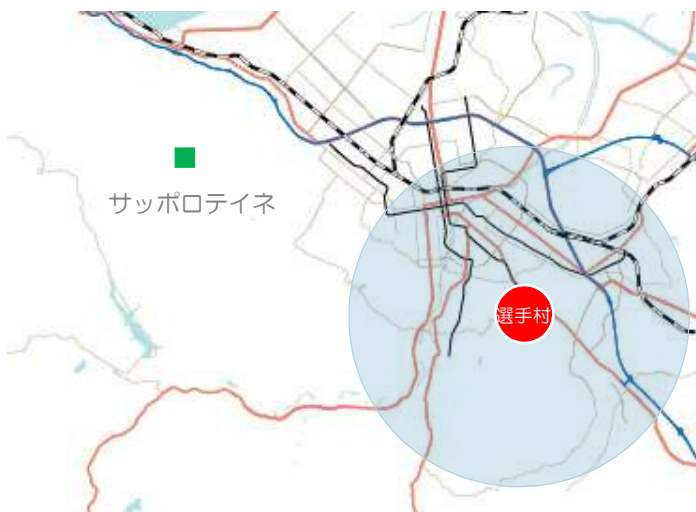
普通車：356台



後利用

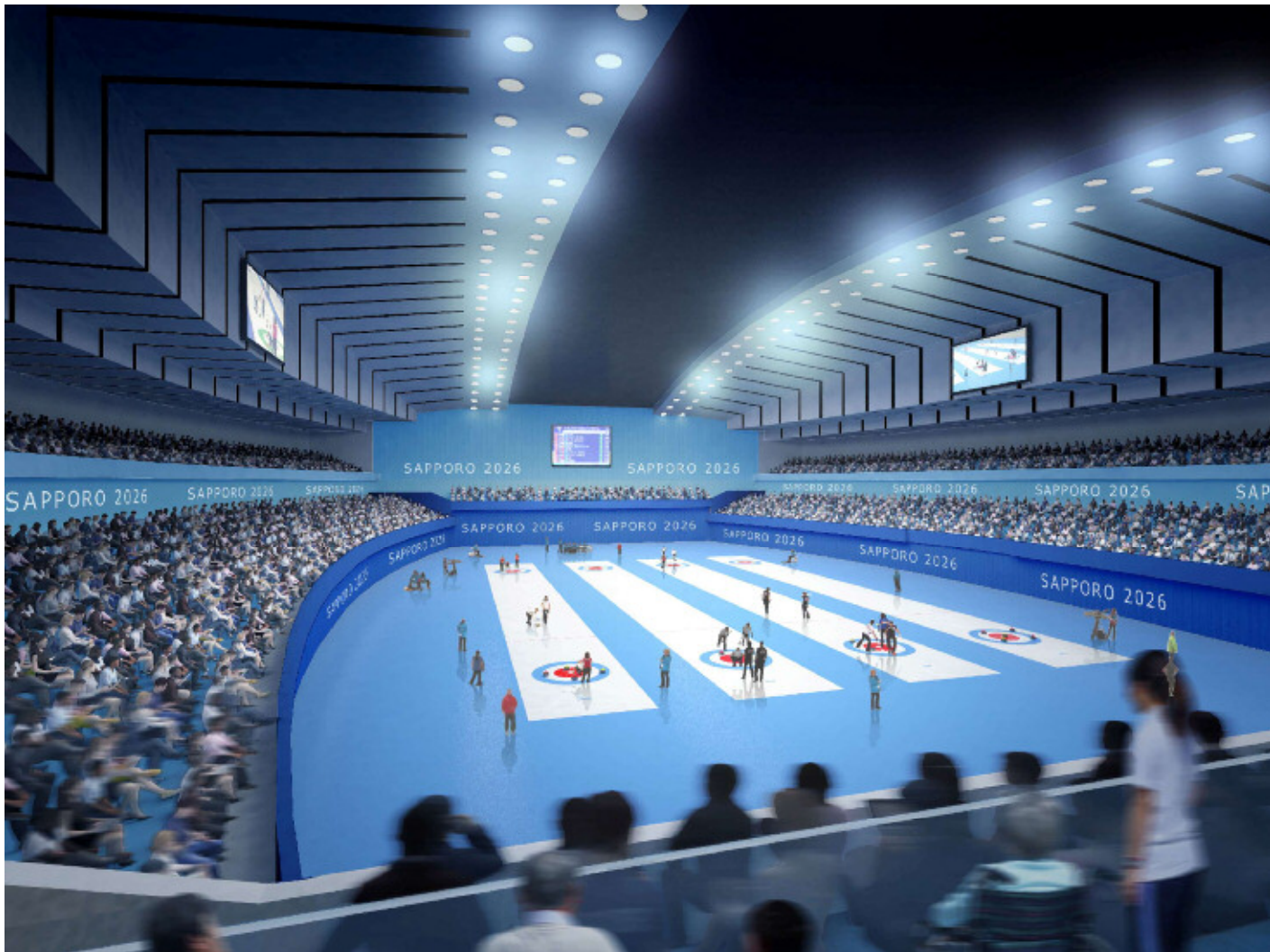
競技会場は世界レベルのコースを活かし、ナショナルトレーニングセンターとして、また、アジアのトレーニング拠点として、競技者を集め、育成します。

また、JR札幌駅から30分というアクセス環境を活かし、市民や観光客が利用できるスキー場と一体となった施設として生まれ変わります。



北海道の誇るスポーツの殿堂を活用したカーリング会場

北海きたえーる



2000年に東北以北最大級の屋内体育館としてオープンした施設で、メインアリーナとサブアリーナのほか、武道場や弓道場、トレーニング室など多様な機能を有しており、北海道の屋内スポーツや武道の中心的施設として利用されています。

また、地下鉄駅に直結した施設であり、高い利便性を誇ります。選手村に比較的近い既存施設の有効活用です。

2026大会期間中は、カーリング会場として約3,000席を有する会場となります。

競技会場	北海きたえーる
所在地	札幌市豊平区豊平5条11丁目
整備手法	仮設
敷地面積	40,000㎡
建築面積	18,919㎡
延床面積	30,000㎡
競技施設	リンクサイズ：30m×60m（シートは5m×45.72mを4面用意）
観客席数	固定席：3,000席

建設コンセプト

これまで、各種の国際大会を開催してきた会場であり、既存施設を利用して、施設建設費を抑制します。メイン・アリーナに仮設のアイスマットをセットし、カーリングに適した氷を作成します。大会開催に配慮された施設であり、選手・関係者・観客のすべてが、安全かつ快適に移動し、利用できる施設です。

運営機能

関係者諸室は、本施設の各室に割り当て、屋外の仮設施設を最小限にします。

札幌の中心市街地にも至近な地下鉄直結の会場であり、観客のアクセスは主に地下鉄の利用を想定します。更に、選手・関係者席や諸室は、観客席のフロアと階を異にしており、スムーズな動線による競技が可能です。

競技関連諸室：900㎡／オリンピックファミリー用諸室：500㎡／メディア用諸室：4,400㎡／運営用諸室：5,600㎡／その他諸室：1,200㎡

環境

隣接する公園と一体となり、緑の景観を形成しており、オリンピックのための樹木伐採や土地の改変は最小限で対応します。

既存施設の改修がある場合には、発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

会場内は選手や大会関係者など、クライアント同士の交錯及び不審者や無関係者の侵入を防ぐため、認証カード等による入場監理を行います。また、会場はセキュリティエリアにより管理され、最先端の生態認証システムを活用した入場監理システム、会場全体の監視システムを導入し、十分な安全対策を講じます。

交通輸送

選手村	5.2 km / 12 min
新千歳空港	48.0 km / 59 min.
JR札幌駅	4.8 km / 11 min

●	仮設
●	既存（改修）
■	建替
▲	新設

駐車場

普通車：326台



後利用

既存施設である北海道立総合体育センター（北海きたえーる）は、2026年札幌大会の競技会場として再び注目され、これまで以上に、市民・道民から愛されるスポーツ・イベント会場として活用されます。



多くの大会実績をもつ施設を 自然を感じられる競技会場にリニューアル

西岡バイアスロン競技場



西岡バイアスロン競技場は、1972年札幌大会に向けて新設され、バイアスロンの会場として使用されました。その後もアジアバイアスロン選手権大会やバイアスロン日本選手権大会をはじめ、数多くの大会が開催されている競技場です。

競技会場	西岡バイアスロン競技場
所在地	札幌市豊平区西岡
整備手法	既存改修
競技施設	全長：4,000m
観客席数	固定席：7,000席、立見席：15,000席

建設コンセプト

1965年から始まったバイアスロン競技日本選手権大会の会場として、半世紀以上に渡り培われてきた経験と技術を活かしつつ、現代に合わせたリニューアルを行い、バイアスロンの魅力を観客と世界に感じてもらえる会場となるよう整備します。

運営機能

陸上自衛隊施設を活用することで、ライフル射撃による周辺地域への安全性を確保することができます。また、最高レベルのセキュリティコントロールにより、選手や観客の安全を確保します。

競技関連諸室：6,700㎡／オリンピックファミリー用諸室：600㎡／メディア用諸室：6,900㎡／運営用諸室：6,200㎡／その他諸室：4,000㎡

環境

会場の整備に伴う森林伐採は極力行わず、選手・関係者・観客等が安全・安心に滞在できることを目的とした整備計画とします。

仮設により発生する建設廃棄物のリユース、リサイクルを徹底するなど、環境負荷を最小限に抑えます。

安全対策

最先端の生態認証システムを活用した入場監理システムを導入するとともに、山側からの進入を防ぐために必要な設備や警備員を配置し、エリア帯を24時間体制で広域的に監視する体制を整えます。

交通輸送

選手村	7.7 km /17 min
新千歳空港	48.9 km /68 min
JR札幌駅	13.8 km /31 min

●	仮設
●	既存（改修）
■	建替
▲	新設

駐車場

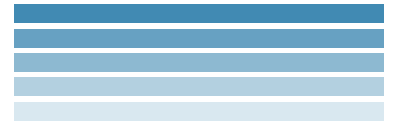
普通車：351台



後利用

バイアスロン競技場としてのほか、陸上自衛隊の教育訓練施設として利用されます。





バリアフリーを徹底し、オリンピック会場の感動を引き継ぐ会場に

競技会場一覧

オリンピック競技大会後、一部の施設はパラリンピック競技会場へ転換します。
オリンピックの感動を引き継いだ、活気あふれる競技会場を計画します。

各競技会場には、最新技術を活用して、様々な障がいに対応できる音声翻訳案内や移動手段をはじめとするバリアフリーを徹底し、誰もが観戦しやすい環境の整備を目指します。

競技	種目	会場
開会式・閉会式		札幌ドーム
アルペン スキー	アルペン	ニセコ
	スノーボード	サッポロテイネスキー場、 札幌国際スキー場、 さっぽろばんけいスキー場のうちいずれか
バイアスロン		西岡バイアスロン競技場
クロスカントリースキー		白旗山競技場
アイススレッジホッケー		月寒体育館
車いすカーリング		北海きたえーる

※ソチパラリンピック2014の開催競技を想定

※バイアスロンとクロスカントリーについては同会場での開催を検討

パラリンピック競技

大会コンセプト

パラリンピックを契機に新たな時代に対応した、すべての人にやさしい豊かな暮らしを創出します。会場や交通機関におけるアクセシビリティの向上を進めるとともに、パラリンピック教育を推進することでノーマライゼーションの理念を広め、心のバリアフリー化を進めます。

選手輸送

車椅子のまま乗車できる、人にも環境にも優しい乗り物で選手の移動をサポートします。

大会期間中は、高速道路や一般道路にパラリンピック専用レーンを設け、混雑なく、また、降雪時にも快適に走行できる道路空間を用意します。

安全対策

最先端の生態認証システムを活用した入場監視システムを導入するとともに、会場全体の監視システムを導入し、十分な安全対策を講じます。

また、観客動線と車両動線を分離し、車椅子利用者にも十分配慮したアクセスを確保する事で、緊急時のスムーズな対応や雑踏事故を防ぐ計画とします。

観客輸送

観客の中にも、多くの障がい者や高齢者等が含まれます。車椅子で乗ることが可能な車両の準備、随所でのボランティアスタッフによる介助等、競技開始に誰もが間に合うよう、わかりやすく利用しやすい観客輸送を行います。

ホスピタリティ

音声翻訳案内など最新機器の利用により、障がい者や高齢者でも安心して参加・観戦できる環境を整える事で、誰もが大会の熱狂に触れることができ、選手を盛り上げられるような工夫を施します。

それらに加え、ボランティア等による人的配慮も充実させます。

バリアフリー化

計画段階からの国際パラリンピック委員会（IPC）の基準を踏まえたアクセシブルな会場整備を行うとともに、体育館等のバリアフリー化を推進します。

また、小・中学校等におけるインクルーシブ教育システムの構築や、パラリンピック競技の体験を通じて、市民、道民におけるパラリンピックへの理解、選手を応援する気持ちの醸成を図ります。



オリンピック・パラリンピック選手村

豊かな周辺環境を活かした、快適かつ環境に配慮した選手村



建設コンセプト

豊かな森に囲まれた中で、
選手が安全・安心・快適に滞在できる居住空間

開閉会式会場となる札幌ドームに隣接した選手村では、周囲を緑に囲まれた立地を活かし、環境に最大限に配慮した施設整備を行います。

選手に十分な広さの居住空間を確保するとともに、レジャー・医療等各種施設や最先端技術と日本のおもてなしの心を活かしたサービスにより、快適で利便性の高い滞在生活を提供します。また、交流スペースを多数配置し、選手相互の交流を促進します。

すべての人が快適に利用できるようユニバーサルデザインに基づいてすべての施設を整備し、そのままパラリンピック選手村としても使用します。

最新のセキュリティ技術や医療設備等により、警備、医療、災害に万全の対策をとり、選手村の安全・安心を徹底します。

選手村の整備においては、PPPやPFI等の民間企業と連携した先駆的なまちづくりのモデルとします。

整備地区	札幌ドーム隣接地
所在地	札幌市豊平区羊が丘
整備手法	新設
敷地面積	約285,000㎡ (うち森林以外170,000㎡)
延床面積	約150,000㎡ (宿泊棟延床面積 約105,000㎡)
収容人員	4,500人 (1ベッドあたりの宿泊棟床面積 約23㎡)

※整備地区は、市街化調整区域のため、都市計画上の整理が必要になります。

今後、札幌ドーム周辺や真駒内地区等、既成市街地における整備についても検討を行います。

オリンピック・パラリンピック選手村

運営機能

I 宿泊ゾーン

選手一人ひとりに、快適な日常生活を提供する宿泊棟

選手には個室を用意し、最適なコンディションづくりを支援します。各個室は防音性と居住性を確保し、インターネット環境を整備して、大会の情報や映像を提供する情報通信サービスや母国のテレビ番組、映画、ゲームなどのアミューズメントをネットワークを通じて提供します。また、選手同士が交流できるように、宿泊棟には居住者センター（ラウンジ等）を設けます。

使いやすさに配慮した広いスペースの各国選手団事務所

各国選手団事務所は、打ち合わせや来客の対応など様々な用途に対応できるよう十分な広さを確保し、選手団の宿泊部屋の直近に設置します。また、住宅棟には機材収納スペースを選手団ごとに設けます。

充実したトレーニング施設、多彩なレストラン、最新のレジャー施設

宿泊ゾーンには、屋内トレーニング場、多目的運動場等のトレーニング施設を設置します。またスポーツドクターも常駐する総合診療所では、充実した医療体制で選手をサポートします。

飲食に関しては、各国の家庭料理から一流料理まで選手の要望に応えた多彩な料理を提供し、選手の体調に直結する「食」に細心の配慮を払います。特に、日本食については専門レストランを設置し、日本文化を感じることができる空間を提供します。

また、映画鑑賞スペース、クラブやゲームセンターなどからなる最新のレジャー施設や、選手がリラックスして快適に過ごせる住空間を提供します。さらに、競技に向けて精神の集中を高めるため、礼拝や瞑想の空間を設けます。

ユニバーサルデザイン都市の建設

すべての人が快適に生活できる空間を提供するために、ユニバーサルデザインを徹底します。パラリンピック開催時には、施設の改修なしにパラリンピック選手村として活用します。

II オリンピックビレッジプラザ

外国製品を多数取り揃えた24時間営業のコンビニエンスストアや各種専門店等、バラエティに富んだサービス・商品を提供します。

選手や役員等に必要な物資を取り扱うロジスティックセンターは利便性と安全性を考慮し、万全のセキュリティチェックを備えた入出庫ゲートを整備し、隣接してシャトルバスターミナル施設も整備します。

交通輸送

9割の会場に30分以内に到着

選手村から開閉会式場、市内の各競技場へは、シャトルバスでオリンピック専用レーンを利用し、9割の会場に30分以内に到着します。

また、村内の交通システムは、冬季のバリアフリー等に配慮した円滑な移動を実現するとともに、環境負荷の少ない車両を運行し、宿泊施設、トレーニング・レクリエーション施設、ダイニング、オリンピックビレッジプラザ、バスターミナルを循環します。

オリンピック・パラリンピック選手村

環境

豊かな自然に囲まれた生活環境の創出

動植物に配慮して土地の改変を最小限とし、可能な限り既存の樹木を残すほか、景観に配慮した、誰もが自然に触れ合える選手村を整備します。

また、環境への負荷を最小限にするため、施設のエネルギーは水素エネルギー、太陽光発電、バイオマス等の再生可能エネルギーにより供給し、廃棄物、再生水等資源の循環利用を進めます。

安全対策

最新のシステムとネットワークで、万全のセキュリティ対策を実現

安全管理のために、部外者の選手村への出入りはオリンピックビレッジプラザのみとし、生体認証システムなど最新のセキュリティシステムで厳重なチェックとスムーズな入村手続を両立させます。宿泊棟においても、各棟各戸の入り口に加え、エレベーターのセキュリティシステムを導入します。

村内に現地警備本部を設置するほか、警察官などの警備要員を配置する警備詰所や、ポンプ車、救急車を配備した消防出張所を設置し、24時間集中監視を行います。

後利用計画

オリンピック施設を活用した、スポーツ施設等の整備

大会終了後に整備する新しい街は、大会時に使用した宿泊施設や体育施設等の一部の施設を有効活用し、宿泊機能や屋内体育施設による障がい者スポーツのトレーニング施設も含めたスポーツパークを検討します。

豊かな自然に囲まれた環境で、施設利用者が快適かつ健康的に過ごすことのできる環境の整備を検討します。

※後利用計画は現時点で想定している計画案であり、今後、変更となる可能性があります。

ホスピタリティ

すべての人に向けたきめ細やかな配慮で、ホスピタリティを提供

多言語表記・ピクトグラムによる案内表示を行い、さらに多言語対応のコンシェルジュも配置します。

また、車いすなどに配慮した段差の解消、視覚障がい者誘導用床材、音声誘導装置など障がい者を念頭に置いた施設整備も行います。

なお、大会期間中にアスリートが家族と面会したり、市民との交流が可能となるミックスゾーンの設置等、選手がリラックスできる環境を整えます。

スピードスケート選手村(帯広)

スピードスケート競技会場が帯広の場合は、競技会場近くにスピードスケート選手村を整備します。

ホテル等の宿泊施設を選手村として利用することを検討します。

アルペン選手村(ニセコ)

スキージャンプ競技会場は、市外の施設を利用するため、競技会場近くにアルペン選手村を整備します。

ホテル等の宿泊施設を選手村として利用することを検討します。



安定的な気候で、アスリートと観客に最高のコンディションを提供

札幌市における2006年から2015年まで（過去10年間）の大会開催期間における気象データは下記の通りです。

オリンピック期間

	平均気温 (℃)	最高気温の 平均(℃)	最低気温の 平均(℃)	平均風速 (m/s)	平均降雪量 (cm)	雨天率 (%)	好天日出現率 (%)
2/6	-3.1	0.1	-6.9	3.6	4.8	20%	80%
2/7	-2.8	0.1	-6.2	3.8	7.8	30%	70%
2/8	-3.4	-0.9	-6.7	3.4	3.8	30%	70%
2/9	-3.1	-0.1	-6.6	3.0	1.7	0%	100%
2/10	-3.8	-0.7	-6.8	2.7	5.0	10%	90%
2/11	-3.9	-0.8	-7.3	3.1	2.5	20%	80%
2/12	-4.7	-1.8	-8.0	3.8	5.7	10%	90%
2/13	-3.6	-0.9	-6.9	3.5	5.6	50%	50%
2/14	-2.2	1.1	-5.9	4.0	3.8	30%	70%
2/15	-2.6	0.5	-6.1	3.7	3.3	40%	60%
2/16	-3.2	-0.9	-5.3	3.8	8.6	50%	50%
2/17	-3.4	0.0	-6.7	3.9	4.5	50%	50%
2/18	-3.5	-0.9	-7.1	3.6	3.1	20%	80%
2/19	-3.0	0.0	-6.4	3.1	4.5	10%	90%
2/20	-2.0	1.3	-6.1	3.8	2.4	10%	90%
2/21	-2.6	1.0	-6.0	4.1	7.0	40%	60%
2/22	-1.4	2.2	-5.7	3.7	1.3	0%	100%

パラリンピック期間

	平均気温 (℃)	最高気温の 平均(℃)	最低気温の 平均(℃)	平均風速 (m/s)	平均降雪量 (cm)	雨天率 (%)	好天日出現率 (%)
3/6	0.6	4.4	-3.2	4.4	1.9	30%	70%
3/7	-0.7	2.6	-4.4	3.6	3.6	10%	90%
3/8	-0.9	2.7	-4.3	3.1	2.7	10%	90%
3/9	-1.0	2.5	-4.7	3.3	4.9	40%	60%
3/10	-0.4	3.1	-4.2	3.8	4.7	40%	60%
3/11	-0.6	2.6	-3.4	4.2	3.2	20%	80%
3/12	-0.4	2.5	-4.2	3.5	1.4	10%	90%
3/13	0.0	3.3	-3.0	4.5	4.7	40%	60%
3/14	0.1	3.4	-2.9	4.5	3.5	20%	80%
3/15	1.0	4.6	-2.2	3.4	2.4	20%	80%